

ほけんだより 7月号

2021年7月
万博れんげ保育園

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。コロナ禍で外出を控えることも多くなりますが、普段からの遊びで体を鍛え、喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

6月の当園の感染症状況

6月は、感染性胃腸炎に2名罹患されました。

ウイルス性胃腸炎は基本的に冬に流行しやすい傾向がありますが、吹田市で6月はノロウイルスが流行していました。夏季は食中毒である細菌性胃腸炎が流行しやすい時期です。子どもは特に夏季は脱水になりやすく、胃腸炎になるとさらにリスクが高まります。

症状があれば、早めに受診し、安静にしましょう。



熱中症

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。

日射病は、戸外で強い直射日光にさらされることが原因で、熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。

熱中症の主な症状

日射病…顔が赤い、呼吸が荒い、皮膚感覚は熱く、体温が上がっても汗が出ず、めまい・頭痛・吐き気などを伴う

熱射病…顔は青白く、大量の発汗あり。皮膚感覚は冷たく、めまい・吐き気を伴う

なぜ子どもは熱中症になりやすい？

子どもは体温調節がうまくできず、温度変化の影響を受けやすい、また衣服の着脱も水分補給も一人で行うのが難しいため、容易にかかりやすいのです。

車や家の中でも熱中症になります

特に車中では、気温が高くなっても高温になるので、子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。

予防のポイント

- 外出時は帽子をかぶりましょう。日除けのあるベビーカーも照り返しで暑くなるので注意です。
- 炎天下での遊びは、長時間に及ばないようにしましょう。
- 肩まで隠れる、吸湿性、吸水性に優れた衣服を選びましょう。
- 朝食はしっかりと、こまめに水分補給を行いましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、受診をして医師の診断を受けましょう。

手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがができ、発熱することがある。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水泡、口内炎が特徴。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱する。

プール熱

高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出る。プールで感染しやすい。アデノウイルスが原因。

流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにやよく涙が出る。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにする。アデノウイルスが原因。

これらの感染症と診断された場合は、登園許可証明書・登園届のいずれかが必要です。記載している登園の目安を参考に、医師の指示に沿って登園をお願いします。感染症はプールが始まると、より拡大しやすくなります。再度、プールだよりで参加できない場合をご確認ください。

今年はコロナウイルス対策のため、少しでも咳や鼻水の症状がみられたら、プールの参加は控えていただくようお願いいたします。また、絆創膏を貼っている場合は、乾燥していない傷があると判断し、プールの実施はできませんのでご注意ください。